「相談するほどじゃないかもしれない…」

「相談」というと、ハードルが高いように感じるかもしれません。
モヤモヤした気持ちを吐き出したり、一緒に整理したり、一緒にこれからのことを考えたり。
どうぞ抱え込まないで、だれかとつながることで、ほっと一息ついてみませんか？

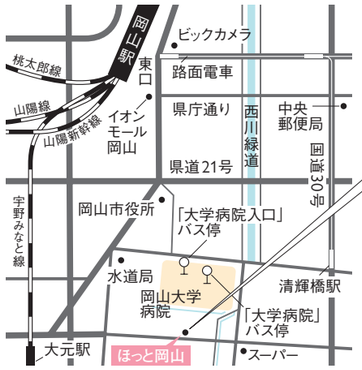
- 放射能が不安、健康被害のことを誰にも話せない…
- 岡山のことがわからない…
- 母子避難でもう限界
- 相談したいけど相談先が分からない
- さびしい…
- これから、どこで暮らしていこう…

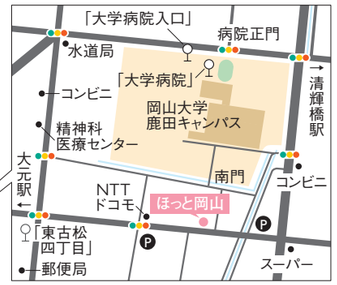
［相談］電話・来所・メールにて対応
［時間］火・木・金・第2土 10:00～16:00

相談員は、避難当事者、支援者のほか、精神保健福祉士、臨床心理士、司法書士がおり、さまざまな相談お悩みをお聞きしています。まずはお気軽にご連絡ください。秘密厳守ですのでご安心ください。

ほっと相談 専用ダイヤル
0120-566-311
［メール］hotokayama@gmail.com

アクセス





近隣詳細地図

◎岡山駅から

［車］約10分
［徒歩］約30分
［路面電車］岡山駅前から「清輝橋」行きで12分「清輝橋」下車、徒歩約15分

［バス］
○岡山駅東口バスターミナルから「12」「22」「52」「62」「92」系統の岡電バスで「大学病院入口バス停」下車徒歩10分
○岡山駅東口バスターミナル「4番乗り場」から「2H」系統の岡電バスで「大学病院構内バス停」下車徒歩10分
○岡山駅東口バスターミナル「4番乗り場」から「83」系統（新保西・万倍行）の岡電バスで「東古松四丁目」下車徒歩4分
○岡山駅前（イコットニコット前または高島屋入口）から循環バスで「大学病院入口」下車徒歩10分

ホームページやフェイスブック、YouTubeでも『ほっと岡山』の活動などをご覧いただけます。

「ほっと岡山」ホームページ
フェイスブック「hotokayama」
YouTube「ほっとチャンネル」
インスタグラム「hotokayama」

発行：2022年4月30日
発行元：一般社団法人ほっと岡山
〒700-0921
岡山県岡山市北区東古松1-14-24
コーポ錦1F
TEL：070-5670-5676
FAX：086-230-4561

©2022 ほっと岡山 All Rights Reserved
禁・無断複写、転載

Design: Okano Yuichiro (hi foo farm)

ほっと岡山
岡山からできる東日本大震災の被災者の支援

2022.5
No.35
5月号
［Take Free］

「ほっとおたよりNEWS」は、東日本大震災により岡山県へ避難されている方にむけて無料配布しています

編集・発行：一般社団法人ほっと岡山
岡山市北区東古松1-14-24コーポ錦1階
電話：070-5670-5676
メール：office.hotokayama@gmail.com

ほっと岡山
岡山からできる東日本大震災の被災者の支援

ほっとおたよりNEWS

今月のInstagram インスタから
ほっともも太くん

4月で木原が退職し、新しいスタッフが入っています。今後ともよろしくお願いします！

全国の避難者数
［令和4年3月29日復興庁調べ］
約37,191人
―
岡山県の避難者数 915人
（うち、福島県からの避難者183人）

今月号と来月号では
プチバージョンの
おたよりをお届けします。
表紙は岡山に避難された方々に
担当していただけることになりました。
月がわりの表紙を
どうぞお楽しみください。

［今月の内容］
イベントカレンダー
紙面から失礼します～
「ほっとギャザリング」とは…？
ニュースダイジェストプチ版
みなさんのオススメ本

イベントカレンダー［2022年5月］

火・木・金・第2土…相談日
●…ほっと岡山主催・共催等
●…協力イベント、他

相談員…●大和田（精神保健福祉士）
●司法書士（随時）
●宮岡（義）
●宮岡（篤）
●はっとり

＊司法書士による法律相談は随時受け付けます。ほっと岡山事務局まで、お気軽にご連絡ください。

HPはこちら！

5月に行われる予定のイベントとその内容です。
リニューアルされたホームページでは、1ヶ月先までの予定が見られますので、ぜひこちらもチェックしてみてください。
皆さまのお越しをお待ちしております。ご質問も遠慮なくどうぞ！

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
		←	事務局お休み	→		
8	9	10 ●相談員：はっとり	11 ●ひみつきち	12 ●相談員：宮岡（義）	13 ●相談員：はっとり	14 ●相談員：大和田 ●オンライン交流会
15	16	17 ●相談員：大和田	18 ●ひみつきち	19	20 ●相談員：はっとり	21
22	23	24 ●相談員：はっとり	25 ●ひみつきち	26 ●相談員：宮岡（義） ●くるくるお茶会 （宮岡篤）	27 ●相談員：はっとり	28
29	30	31	6.1	2	3	4

●5/11（水）、18（水）、25（水）16:30〜18:00
子どもの居場所「ひみつきち」
申込不要。高校生と一緒に、おしゃべりしたり、宿題をやったり。

●5/14（土）19:30〜21:00
避難者オンライン交流会（Zoom使用）
申込要（締切前日16:00）。機器の無料貸出あり。避難者、被災者の方なら全国どこからでもご参加ください。

●5/26（木）11:00〜15:00
ミニ交流会くるくるお茶会
申込優先（定員5名子ども含まず）。ほっとひと息のひとときをゆるい感じでご一緒しませんか？ ハンドケアトリートメント付。

新型コロナウイルスに関するイベント開催についてお知らせ
新型コロナウイルス感染拡大による政府・行政の判断により、イベントをオンライン開催へ変更する場合がございます。変更の場合、既にご予約の方には、ほっと岡山事務局よりご連絡します。参加をご検討の方は、事務局へお問合せいただくかホームページでご確認ください。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

申込み先　ほっと岡山　0120-566-311
Fax：086-230-4561
E-mail：hotokayama@gmail.com

NEW コンテンツ！

紙面から失礼します〜

ほっとおたよりNEWSの新しいコンテンツとして、みなさんからの投稿を募集します。
例えば…
●最近知って伝えたいこと
●おすすめの本・映画・ドラマ・漫画・お店・ソウルフードなど
●ちょこっと宣伝したいこと
●誰かに聞いてみたいこと
●イベントの募集やお誘い
●写真
などなど、紙面で読者のみなさんにお伝えできることなら何でもOKです。匿名でも大丈夫です。ぜひお気楽にお寄せください。

次号のほっとおたよりNEWSから「つぶやきネタカード」が添付される予定ですので、それをご利用いただいても、メールでもお待ちしております！

大募集中！

「ほっとギャザリング」とは…？

例えば、避難者同士で交流したい、得意な○○をいかして活動したい、勉強会をしたい、不登校の子どもや親のサポートをしたい…などなど、みなさんがやりたいを応援する支援です。

つながり・応援が欲しい方に向けて、暮らしづくり・仲間づくりを応援します。

スタートアップの資金相談やサポート、事務所のスペース提供、おたよりやウェブサイトでの告知などがご提供できます。お気軽にご相談ください。

ニュースダイジェスト

全国の紙面から被災地、環境、食品などに関する記事を抜粋してご紹介します。

今号から全文はリニューアルしたウェブサイトからリンクで読むことができますので、ぜひご覧ください。

なお、ほっと岡山では『福島民報』『福島民友』を一定期間保存の上、関連する情報をまとめたスクラップ記事化しています。閲覧可能ですので、ご興味のある方は、事務所までお越しください。

双葉、大熊、葛尾3町村、年内避難解除へ 再除染など最終局面

（福島民友新聞 2022.03.06）

東京電力福島第1原発事故に伴う帰還困難区域に整備されている特定復興再生拠点区域（復興拠点）のうち、今年は双葉、大熊、葛尾の3町村で避難指示が解除される予定だ。残る浪江、富岡、飯舘の3町村についても来春の解除に向けた整備が進んでいる。

住民が自宅に寝泊まりしながら生活再建の準備を進める準備宿泊は、葛尾村で昨年11月、大熊町で同12月、双葉町では今年1月に始まり、富岡町は今年4月、浪江町と飯舘村は今秋ごろを予定している。準備宿泊の開始は原発事故の影響が大きく住民が11年近く住んでいなかった場所を再生する大きな一歩となる。

自主避難者、福島県を提訴　国家公務員住宅入居の11人

（福島民友新聞 2022.03.12）

東京電力福島第1原発事故を受け、県内から東京都や埼玉県の国家公務員住宅に入居した11人が11日、県に計1000万円の損害賠償を求めて東京地裁に提訴した。自主避難者への住宅の無償提供終了に伴い、退去を求められ、精神的な苦痛を受けたとしている。

訴えたのは、避難指示が出た地域以外から避難した東京都の9人と埼玉県の2人。訴状などによると、県は2017（平成29）年4月、自主避難者への住宅の無償提供を終了し、2年間の激変緩和措置を取った。

みなさんのオススメ本

このコーナーは、皆さんからのオススメの本をご紹介します。昔読んだ本でも大丈夫です。ぜひご紹介ください。
投稿は、ほっと岡山のメール（hotokayama@gmail.com）までご連絡ください。

「「ひきこもり」から考える ――〈聴く〉から始める支援論」

著者：石川良子／出版社：筑摩書房（2021/11/10）

よくある引きこもり関連の本だと思って読み始めてみたのですが、思っていたより奥深く興味深い内容なので驚きました。引きこもり当事者に限定される話でもなく、対人コミュニケーション全般にも通じる話だなと感じました。

「共感の落とし穴」や「あなたのために」、「自立」や「依存」、「分かる」より「分からない」が与える安堵、当事者同士だとかえって言えない場合もある、支援の際に生じてしまっている排除などなど、より踏み込んだ部分についての視点が面白かったです。

以前より何となく文明やテクノロジーやサービスなどは人が快適に引きこもれる方向に向かって発展していっているような気がしているので、そんな話もあるかなと思ったらそういった内容は特にありませんでした。（K）Kさん、は新聞各社の記事をスクラップしてくださっています。

スタッフより……おたよりもリニューアルが進行中です。前回実施したアンケートでは、たくさんのご意見をいただきありがとうございました！